

WEB スケジューラのハイユーザビリティ化

005122 多々良 真平

(指導教員 速水 治夫 教授)

1. はじめに

インターネットの利点を最大限に生かせるサービスの一つとして、データをサーバ側で一括管理できるスケジューラサービスがある。

しかしいくつかの企業のサービスを試用したところ、拡張機能の氾濫、独自の GUI ルールの適用等、パッケージングソフトに近い、利用しづらいインターフェイスが採用されていた。

ブラウザから利用するサービスである以上、それに即したユーザビリティ・ルールの適用が必要である。

その観点から GUI の再構築や機能の絞り込みを行い、パフォーマンスの改善を試みる。

具体的な技術として、WEB サイト構築時のガイドライン、ユーザ・エクスペリエンスの重視、ホイール・トレーニング等を採用する。

2. システム概要

APACH , TOMCAT から WEB サーバを構築し、JSP , MYSQL を使用したサービスを提供する。

左フレームにページ移動のためのカレンダーを、右フレームにスケジュールコンテンツを表示する。

記述の柔軟性を重視するため、記述領域はシンプルなテキストエリアを採用している。

学習速度向上のため、シンプルモード、アドバンスモード(図1)と2系統のインターフェイスを提供している。アドバンスモードの拡張領域の項目は、フランクリン・プランナーのデザインを参考とした。

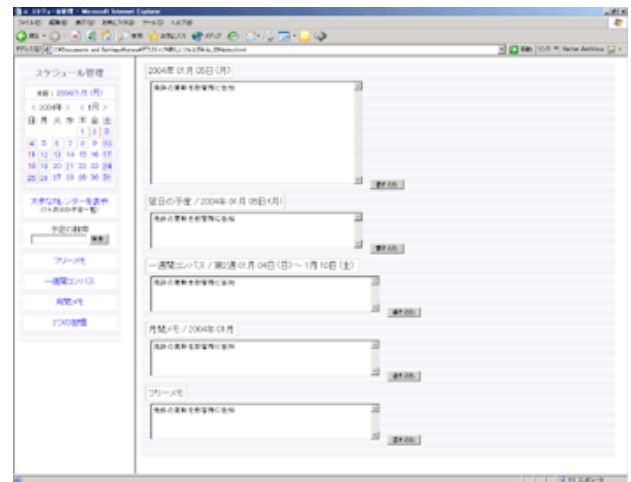


図1. 基本画面 (アドバンスモード)

3. 評価

学生8人に対して評価実験を行った。同様のサービスである Yahoo! カレンダー、オンライン・フランクリン・プランナーを比較対照とし、入力、出力の両面でタスク実行時間の短縮が観測された。

4. 終わりに

常用用途でのパフォーマンス改善は観測された。しかし、大量のデータ入力や特殊な検索など、ヘビーユーザへの配慮をいくらか犠牲にしている面がある。改善案として、利用目的別に GUI を構築する、スクリプトを利用したヘルプの導入等が考えられる。